



お待ちしております。
新しい「環境サロン」は
こんなテーマで企画中です。



今年度の環境サロンは、市民の皆さんにより身近なものとするために、1)企画段階から多くの方々の意見を伺い、2)一方通行の講義ではなく、体験報告と対話を主体にし、3)議論だけに終わらず、事業や実践への方向性に結びつくようなものにする下記テーマを取り上げる予定です。

環境のまちづくり

a 市民共同発電

「きれいな電気を
自分たちでつukれないのか」

太陽光発電を中心に、再生可能エネルギーの背景を含めて、市民が出資できる共同発電事業の可能性について話し合い、事業化の検討を行います。

b 市街地活性化

「どうにかならんか、この現状」

宇部市の市街地は昔の盛況が想像できないほど閑散とした状況です。再活性化の課題と対策について、ハード・ソフトの両面から、知恵を集めて考えます。

世代間の対話

「こころの環境づくり～このままでいいの？」

今日の複雑な環境問題を考えるとき、やはり根本的な私たちの生き方や価値観そのものを考えなければならない時代になっています。生きる力をもつ子どもたちが育つように、ご父兄・先生方とともに考えたいと思います。

初めての方も、ご見学の方も
お気軽に来館ください

宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある学習室（無料）、使いやすい料金のミーティングルーム（大・小）があります。午前9時から午後9時まで利用できます。ご利用、ご見学をお待ちしております。まずは1階事務所へお声かけください。

6月8日（土） まちなかエコ市場

10:00～15:00

- ♪癒しのフラやギターの弾き語りなどのステージ
- ♪新鮮なお野菜や苗、宇部商スイーツ、薪窯ピザや石炭パオ、手芸作品、銀天街の皆さんの出店もあります。
- ♪「山口むしの会」さんも参加してくださいませ。ぜひ虫についてのお話を伺ってみましょう！

これまで行われた環境サロンをアーカイブでご覧になれます。

「環境サロン」(<http://kankyo-salon.jp/>)で
ご検索ください。

里山再生

「水と食べ物をまもり、
自然とも仲良くしよう」

今年度、宇部市においては、里山保全に関連して、生物多様性応援団が発足します。この動きに呼応して、市民が里山の重要性を認識し、草刈りや休耕田の利用など、小野地区を中心に中山間地域の農林業を支援する活動を目指します。

環境歳時記

6月13日

「生物の多様性に関する
条約署名」



裏面をご覧ください

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。

ポータルサイト (<http://www.ubekuru.com/>) のブログ、フェイスブック (<https://www.facebook.com/ginteneoplaza>) のコメント欄もご利用ください。

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

宇部キャンプ協会

宇部キャンプ協会は、創設は昭和 49 年と歴史のある団体ですが、老若男女、楽しく活動しています。自然に触れ合って楽しむをモットーに 1 年間に 3 回～4 回イベントを開催しています。

まず、1 つ目は親子を対象にした「ファミリーキャンプ」。最近では親子の会話が無い等、問題になっていますが、キャンプを通じて一緒にご飯を作ったり、カヌーに乗ったりする事で、少しでも親子の絆が深まればいいなと思っています。

2 つ目は「救急法救急員養成講習会」の開催です。万一の事故や災害に備える為にも必要と考え講習会を開催しています。

3 つ目は「子供スキー教室」の開催です。この行事は先ほどのファミリーキャンプとは逆に子供達だけを対象にし、協調性や助け合いの心を育くむという事を大事にしています。

以上が主な年間のイベントです。

しかしながら近年は会員の減少により活動が縮小してきています。今一度活動を盛り上げる為に、イベントの企画や運営をしてみたい方・アウトドアに興味がある方、一緒に活動しましょう！！



問い合わせ

宇部市東岐波 5589 番地 A-101

宇部キャンプ協会 事務局

Tel 0836-38-5113

Mail:ubecam@mx4.et.tiki.ne.jp

HP: <http://ww4.et.tiki.ne.jp/~ubecam/>

環境歳時記 6月13日

「生物の多様性に関する条約署名」

皆さんご存知であろうか、現在この地球上で 10～13 分に一種類の生物が絶滅していることを、そしてこのスピードは今後急速に加速するであろうということ。

現在、科学的に明らかにされている野生生物は約 175 万種程度であるが、推計によると地球上に存在する種の数には 300 万～1 億 1100 万種 (UNEP による推計) に及ぶと言われている。

そして未知の種も含めばそれらの約半数が陸地の約 7% にしかならない熱帯雨林帯に存在しているという。

野生生物は象や鯨といった大きなものから菌類、バクテリアなど多種多様な姿でこの地球上に存在しており、これらの生き物はどれをとってもただ 1 種類だけで生きていくことはできない。これらの生物が直接間接的に関わり合っ

そこには人間が作り出す技術では補完しきれない微妙なつながりを持っている。そしてそのつながりを一度崩すと永久に回復できない。

一方、そこからは人類に大きな恩恵をもたらしている。医療を支える医薬品にはそれらの生物から多くの新しい成分をもたらし、またこれからも未知の新しい医薬品をもたらす可能性を秘めている。

このつながりを「生物多様性」と言っている。現在、このつながりを途絶えさせる生物の絶滅が急速に進んでおり、いつの日かそれは人間を直接脅かすものになると考えられている。

そんな現状を少しでも認識し、防止しようとしてできたのが生物多様性条約である。

本条約は、1992 年 6 月 3 日から 14 日までリオデジャネイロにおいて開催された国連環境開発会議 (UNCED) における主要な成果として、会議中に署名のため開放され、6 月 13 日、日本はこれに署名した。

本条約の骨子は

- ・生物多様性の保全
- ・生物多様性の構成要素の持続可能な利用
- ・遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分



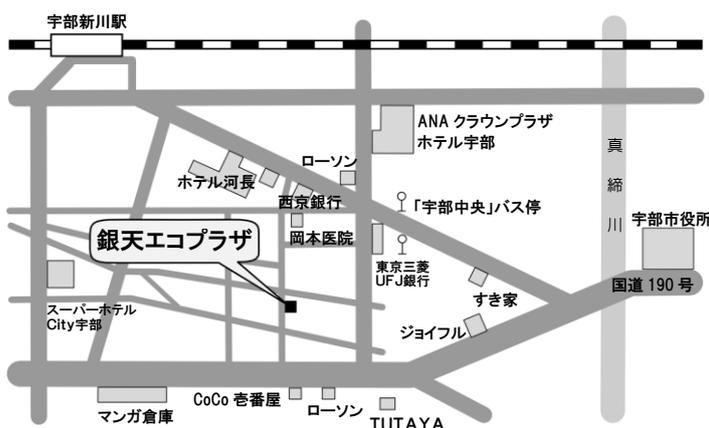
である。

本条約はその後 1993 年 12 月 29 日効力を発し、その後締約国会議 (COP) がほぼ 2 年毎に開催されている。

2012 年 2 月現在、192 개국及び欧州連合 (EU) が締結しているが米国は未締結となっている。

生物多様性条約の原案が作られた時、その前文には、次のような文章があった。

「人類が他の生物と共に地球を分かち合っていることを認め、それらの生物が人類に対する利益とは関係なく存在していることを受け入れる」残念ながらこの文章は、その後削除されてしまったが、しかし私たち人類が、地球上の多種多様な生命の一種として存在しているという謙虚な気持ちを忘れてはならないであろう。(館長 西村 誠)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目 11 番 21 号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩 7 分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩 3 分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9 時～21 時

休館日 毎週火曜日、年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)